

何に使った3039万円

木浦正幸後援会の事務所費など(17年分政治資金収支報告)



「家賃ゼロの衆参議員会館に多額の事務所費支出」という『しんぶん赤旗』一面トップの見出しが目に飛び込んできました。「賃料のない議員会館を資金管理団体の『主たる事務所』にしながら、家賃が中心で領収書のいらない『事務所費』の支出を年間一千万円以上も計上している国会議員が十八人もいる」というものです。

12月議会で大問題になった木浦市長の政治資金のことが、サーっと頭にひらめきました。早速、収支報告書を開いて、「事務所費」などの経常経費

事務所費などの経常経費

人件費	7,899,109円
光熱水費	477,387円
備品・消耗品費	3,759,765円
事務所費	18,254,040円
経常経費合計	30,390,301円

費を調べて見ました。(左表)

収支報告書に領収書を添付する必要がない「経常経費」は、3000万円にもなることがわかりました。16年は200万円程度です。「人件費」「光熱水費」「備品・消耗品費」もすごい金額です。

自民党上越支部や政経事務所の「事務所費」(下の表)が普通でしょう。木浦正幸後援会の事務所は、上越北消防署の近くにあるようですが、月平均約152万円の「事務所費」はまさに破格で、

「国会議員並み」ではありませんか。

「事務所費」は「政治団体の事務所」の借料(地代、家賃)、公租公課、火災保険料、電話使用料、切手購

買費、修繕料等」(「逐条解説『政治資金規正法』(ぎょうせい)」)で、「後援会報」などの印刷費(約1034万円)や会議費(約700万円)は含まれません。

『しんぶん赤旗』にはさらに、「何に使った多額経費」「事務所費の怪」との見出しで、「自民党の佐田玄一郎行政改革相は、政治団体の架空『事務所費』などに約7800万円支出していたと虚偽報告していたことが発覚、大臣を辞職しました」と書き、「領収書の添付を義務付けるなど、不明朗な政治資金にメスを入れる必要があります」として

います。まさに「その通り」だと思えました。

関連政治団体の事務所費

木浦正幸後援会	1825万円
このうら正幸政経事務所	25万円
自由民主党上越支部	47万円

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の 市政レポート

2007年1月14日 No.130
発行 杉本敏宏 事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832